

# ウィーン

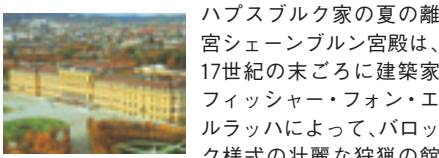
## 観光の基本・見どころ



### 主な見どころ Sightseeing Points

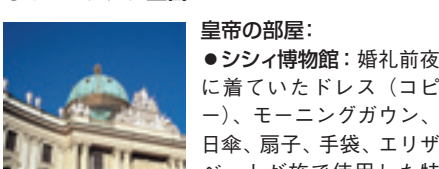
#### 宮殿/庭園

##### ① シェーンブルン宮殿



ハプスブルク家の夏の離宮シェーンブルン宮殿は、17世紀の末ごろに建築家フィッシャー・フォン・エラッハによって、バロック様式の壮麗な狩猟の館として改築されました。さらに18世紀の半ばに、女帝マリア・テレジアの指示でニコラウス・バカッシが改装を行い、現在の姿となりました。訪れる人々の関心を最も引きつけるのは、オリジナルの状態に保存された美しい部屋の内装です。また、バロック様式の広い庭園は、宮殿見学での疲れを心地よく癒してくれます。  
[www.schoenbrunn.at](http://www.schoenbrunn.at)

##### ② ホーフブルク王宮



**皇帝の部屋：**  
● **シニイ博物館：** 婚前前夜に着ていたドレス（コピー）、モーニングガウン、日傘、扇子、手袋、エリザベートが旅で使用した特別客車（コピー）、デスマスクなどを展示。また、当時の写真の通りに部屋を再現します。  
● **宮廷銀器コレクション：** 宮廷で使った食卓調度品や食器やテーブルセッティングの展示。



**王宮宝物館：** ハプスブルク家の威光を物語る莫大な財宝、儀式的衣装、調度品などの展示。神聖ローマ帝国皇帝やオーストリア皇帝の王冠等はここにあります。  
[www.khm.at](http://www.khm.at)



**王宮禮拜堂：** 13世紀にできた王宮最古の部分。今も礼拝が行われており、マキシミリアン1世が創設した少年合唱団は、現在もウィーン少年合唱団として活躍しています。

##### ③ ベルヴェデーレ宮殿



対トルコ戦争の功績者オイゲン公の夏の離宮。クリムトなどの名画を有するオーストリア・ギャラリーと美しい庭園が有名。  
[www.belvedere.at](http://www.belvedere.at)

### ● 観光プラン作成のヒント

従来のウィーンでの観光は、半日でリングを中心に旧市街の回りをバスで走り、シェーンブルン宮殿の内部を見学し、ベルヴェデーレ宮殿の庭を見学するといったものが多かったのではないのでしょうか。しかし、最近はリピーターも多くなり、個人旅行の増加で、今までにない新しいコースを作る必要があるかと思えます。

そこで少しでもプランニングのヒントとなるように、「ツアー作成のレシピ」に則って各情報をまとめました。それらの中から、時間の無理がないように2~3か所を選んで日程を作ってみたり、またフリープランのツアーのお客様に提案という形でパンフレットにご紹介したり、利益を確保するために人気の世界遺産や、観光客向けコンサートを入れたオプションツアーを作ってみてはどうでしょうか。



## ● 基本モデルコース

スケジュール	
1	午前： <b>半日観光</b> シェーンブルン宮殿(入場)、リング通り、ベルヴェデーレ宮殿庭園(下車)
	午後： <b>各観光テーマに沿ったスポットを訪ねます</b>
	夜： オペラ、またはコンサート等鑑賞、またはホリゲやワインケラー <span style="float: right;">【ウィーン泊】</span>
2	終日： 自由行動、または <b>郊外への観光や、観光アイデアを入れてみては</b> <span style="float: right;">【ウィーン泊】</span>

## 寺院／教会／修道院／墓所

## ④ シュテファン大寺院



ウィーンのシンボル、オーストリア最大のゴシック建築の教会。フリードリヒ3世の棺をはじめ、ハプスブルク家代々の人々の内蔵が葬られています。最も古い部分は13世紀のもので、シュテファン広場から入る門。北塔60.6mへはエレベーターで、南塔136.7mは途中まで階段で登れます。

www.stephansdom.at

## ⑤ アウグスティーナ教会



シィとフランツ・ヨーゼフをはじめ、ハプスブルク家代々の結婚式が執り行われ、地下には代々の心臓が安置されています。ちなみに、ハプスブルク家の慣例により心臓がここ、内蔵がシュテファン大寺院、その他の部分はカプチナーグルフトにそれぞれ別々に収められています。

## ⑥ 皇帝納骨所 (カプチナーグルフト)



カプチナー教会地下でハプスブルク家代々の棺があり、約140名が永眠しています。最も大きなマリア・テレジアとフランツ1世の棺をはじめ、質素なものから豪華で芸術的なものまで、皇帝たちの人となりを表す棺が安置されています。シィの棺などには、今も献花がたえません。

www.kaisergruft.at

## ⑦ 聖マルクス霊園



1791年に世を去ったモーツァルトの永眠の地。厳密な埋葬場所は不明のままですが、生誕100周年から数年後、埋葬位置と推定された場所に記念碑が建てられました。柱に寄り掛かって物思いに沈む天使の姿が見られます。

## ⑧ 中央墓地



ベートーヴェン、シュトラウス、シューベルトなど、偉大な音楽家の墓碑が中央墓地名誉区にあります。

www.friedhofe.wien.at

## 美術館／博物館



## ⑨ 美術史博物館

ハプスブルク家が世界各地から集めた絵画がある世界的に有名な美術館のひとつ。ブリューゲルの作品群が特に有名で、その他、ルーベンス、レンブラント、ベラスケス、ラファエロ、ヴァン・ダイク、デューラーなど多数の有名な画家の絵画が展示。

www.khm.at

## ⑩ 自然史博物館



マリア・テレジア記念像をはじめ、美術史博物館と向かい合う建物。先史時代からの動物、植物、鉱物やハルシュタット文化時代の出土品、約2万5千年前の「ヴィレンドルフのヴィーナス」像、マリア・テレジアの「宝石の花束」などが有名。

www.nhm-wien.ac.at

## ⑪ ミュージアムクォーター・ウィーン(MQ)



あらゆるジャンルの現代美術を紹介するクンストハーレーやフェスティバルホールを中心に、クリムトやシーレなど現代美術の古典を集めたレオポルト美術館、MUMOK(現代美術展示場)を配し、その背後や前面の広大な広場を囲むようにして、ウィーン建築センター、タバコ博物館、ダンス・クォーター・ウィーン、子供劇場、子供のためのウィーン・エキストラ、ズーム子供博物館などが建ち並んでいます。ウィーンの新らしいスポットです。

www.mqw.at

## ⑫ ウィーン市立博物館 カールスプラッツ



一番最初の定住者からローマ時代、バーベンベルク家の時代を経て、ハプスブルク家640年間の治世を貫くウィーンの歴史の全体像が、非常に分かりやすい形で展示されています。1階は先史時代～中世、2階は16～18世紀、3階は19～20世紀、古地図や市街模型等で往年のウィーンの様子が知ることができます。

www.wienmuseum.at

## ⑬ アルベルティーナ



美術史家の間で世界最大のグラフィック・アートのコレクションを所蔵する美術博物館としてよく知られている、市の中心にあるアルベルティーナは、2003年に十年の歳月をかけて巨大な展示空間として改装されました。また、新たに修復されたハプスブルク家で最も裕福だった大公アルブレヒトの大広間も公開されています。

www.albertina.at

## ⑭ リヒテンシュタイン美術館



リヒテンシュタイン美術館では、リヒテンシュタイン公の珠玉のコレクションが展示公開されます。初期イタリアの大家の作品や、17世紀と18世紀のポロニア絵画、ルーベンスやヴァン・ダイク、レンブラントを初めとするフランドルやオランダの大家の風景画、風俗画、静物画などの名品を包括しています。さらに18世紀のフランス絵画やオーストリアの古典主義、及びビーダーマイヤー時代の代表的な作品も重要な位置を占めています。また、16世紀～17世紀の秀逸品を中心

とするイタリアのブロンズ像のコレクションも極めて重要なコレクションです。

その他、ミュージアム・カフェ、あるいはレストラン「ルーベンス・パレー」「ルーベンス・ブラッセリー」で、味覚の芸術もご鑑賞いただけます。www.liechtensteinmuseum.at

## 劇場

## ⑮ 国立オペラ座



1861年から1869年にかけて宮廷オペラ劇場として建てられました。1945年に戦災を受けましたが修復され、1955年カール・ベームの指揮するベートーヴェンのオペラ「フィデリオ」で再開されました。そして2002～2005年の間、小澤征爾氏が音楽監督を務めます。

www.wiener-staatsoper.at

## ⑯ 楽友協会 (ムジークフェライン)



毎年元旦にニューイヤー・コンサートが催され、全世界に向けて衛星中継される楽友協会大ホールは、クラシック音楽ファンの憧れのウィーンフィルの本拠地。

www.musikverein.at

## 記念館

## ⑰ モーツァルト・ハウス (フィガロハウス)



1784年から1787年までモーツァルトが住居とした「モーツァルト・ハウス」は、ウィーンにおけるモーツァルトの住まいのうち、唯一現存するものです(彼はウィーンで十数回住まいを変えています)。モーツァルトはこの住居で最も幸せな歳月を過ごしたとされています。多くのピアノ協奏曲、弦楽四重奏曲、そしてオペラ「フィガロの結婚」を含む傑作の数々が、ここで生み出されたため「フィガロハウス」とも呼ばれています。(2006年までの改修工事中は一部が閉鎖されることもあります)

www.wienmuseum.at

## その他

## ⑰ リング通り



聖シュテファン大寺院を中心に、街の中心部を囲んでいる幅広い環状道路が「リング」。かつて市を守る城壁と濠があった所で、19世紀の半ば、皇帝フランツ・ヨーゼフの勅令によってそれらが取り除かれ、現在は街路樹が美しいウィーンメインストリートのひとつ。